

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 2 2 年 6 月
鳥取大学

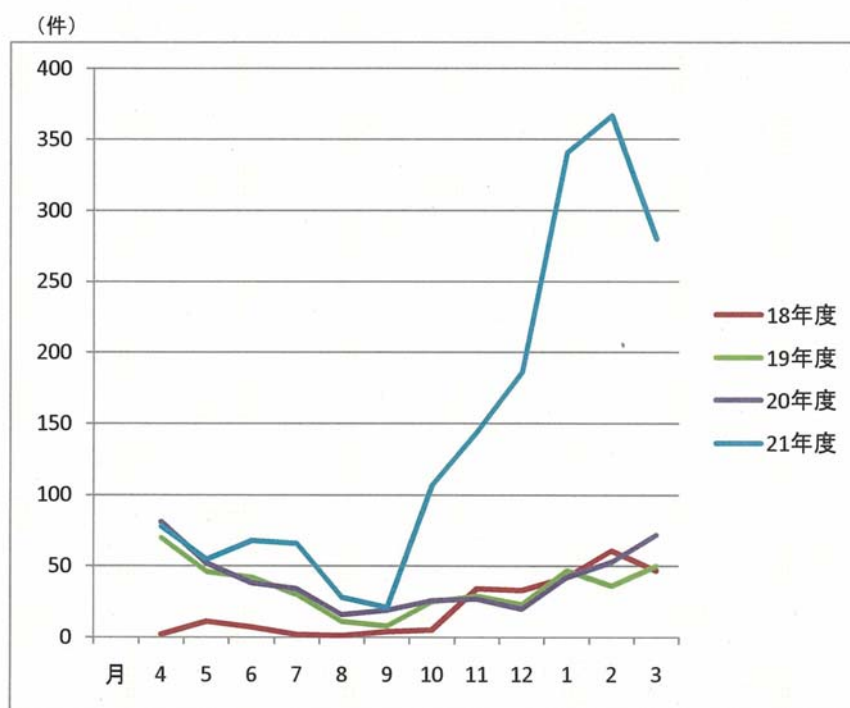
目 次

資料 1-1-1	平成 18 年度～21 年度就職相談件数	1
資料 1-1-2	企業アンケート調査資料	2
資料 1-2-1	最近 5 年間の推薦Ⅱ【センター試験を課推薦入試】志願者状況調	3
資料 1-2-2	地域連携先へのアンケート概要	4
資料 1-2-3	平成 21 年度全学共通科目のカリキュラム改正表	5
資料 1-2-4	学部等に係る教育用ネットワークの整備状況（情報関連経費）	6
資料 1-3-1	電子ジャーナルダウンロード回数及び契約金額の年次別推移	7
資料 1-3-2	電子掲示板の設置状況	8
資料 1-3-3	平成 20 年度講義等における必携 PC・教育用情報ネットワーク利用 状況調査報告	9
資料 1-3-4	学士課程教育に関する三つの基本方針	10
資料 1-3-5	一貫した乾燥地科学の教育体制	11
資料 1-4-1	総合メディア基盤センター GUIDE BOOK 2010	12
資料 1-4-2	全学及び工学部の退学者数の推移	13
資料 2-1-1	法人化以降の大型研究プロジェクトの推移	14
資料 2-1-2	グローバル COE プログラム「乾燥地科学拠点の世界展開」、 同「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」の概要	15
資料 2-1-3	電子ディスプレイ研究センターの概要	16
資料 2-1-4	未利用資源有効利用の基盤技術開発研究（平成 21 年度）	17
資料 2-1-5	共同研究、受託研究等の推移、「大学が地域企業活性化の推進役」	18
資料 2-2-1	TNS における登録研究プロジェクトとその設置年度	19
資料 2-2-2	鳥取大学高度情報化推進構想の情報システム図	20
資料 2-2-3	生命機能研究支援センターが管理する全学利用の大型施設の 年次別推移	21
資料 3-1-1	平成 21 年度地域貢献支援事業報告書（目次）	22
資料 3-1-2	共同研究、受託研究等の推移	23
資料 3-1-3	学術交流協定一覧	24
資料 4-1-1	全学及び工学部の退学状況の推移	25

資料 1 - 1 - 1

平成18年度～21年度 就職相談件数（全学）

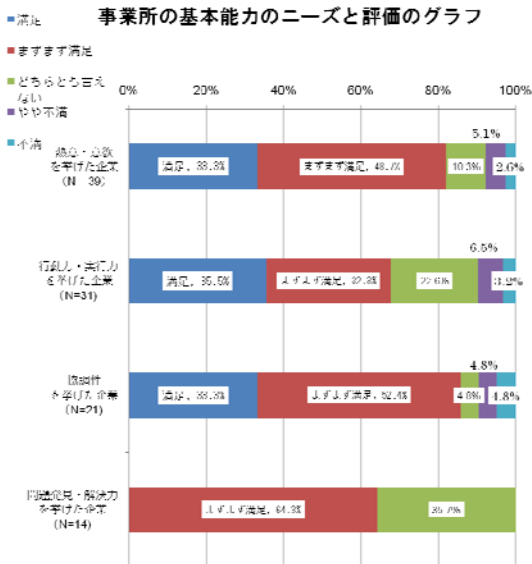
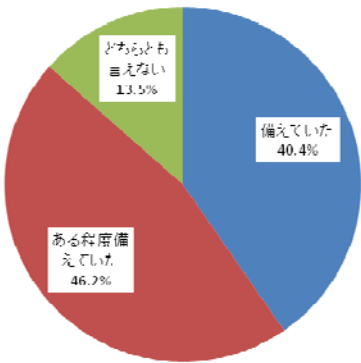
年度 月	18年度	19年度	20年度	21年度
4	2	70	81	78
5	11	46	52	55
6	7	42	38	68
7	2	30	34	66
8	1	11	16	28
9	4	8	19	21
10	5	25	26	107
11	34	29	27	144
12	33	23	20	186
1	42	47	42	341
2	61	36	53	367
3	47	50	72	280
合計	249	417	480	1,741



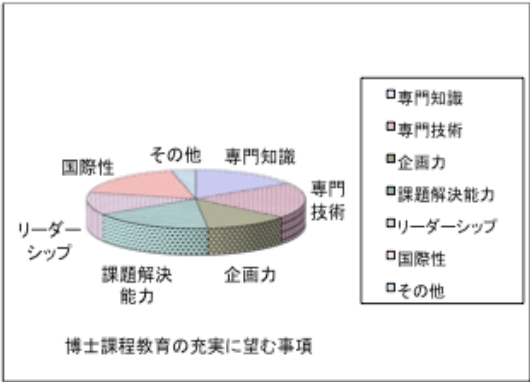
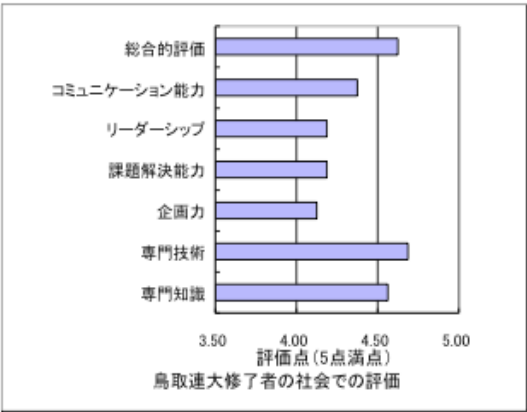
企業アンケート調査資料

●「鳥取大学地域学部卒業生の能力と現状に関するアンケート」分析の概要

地域学部卒業生の基本能力の到達度 (N=53)



●連合農学研究科修士生の就職先（大学、研究所等）に対して、修士生の評価と本研究科の教育において充実を望む事項等に関するアンケート調査



●「農学研究科修士生に対する大学院教育にかかるアンケート調査」

表 平成20,21年度修士生へのアンケート結果(一部抜粋)		
設問	20年	21年
農学研究科に入学した動機(複数回答可)		
1 研究者になりたいから	31.4	37.5
2 卒論が面白かったから	31.4	45.8
3 よりよい職種・企業に入りたいから	9.8	25.0
4 就職が決まらなかったから	0.0	4.2
5 その他	25.5	18.8
作成した修士論文の学生自身の自己評価		
1 大変良かった	9.8	14.6
2 よかった	72.5	43.8
3 とても不満である	11.8	20.8
4 その他	5.9	12.5
農学研究科で向上した能力(複数回答可)		
1 研究力	45.1	45.8
2 専門知識	52.9	29.2
3 語学力	13.7	2.1
4 後輩への指導力	13.7	4.2
5 教員とのコミュニケーション能力	15.7	4.2
6 その他	0.0	12.5
得られた学業の成果の満足度		
1 大変満足している	21.6	6.3
2 満足している	47.1	52.1
3 まあまあである	25.5	29.2
4 不満である	2.0	8.3
5 極めて不満である	2.0	2.1
6 その他	0.0	2.1
回収率:20年度76%、21年度83%		

資料 1 - 2 - 1

最近5年間の推薦Ⅱ【センター試験を課す推薦入試】志願者状況調

(単位:人)

学 部			学 科 等	区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
地域学部	地 域 政 策 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	地 域 教 育 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	地 域 文 化 学 科 (21年度は芸術文化コース)		募集人員	3	2	2	2	4		
			志願者数	3 (2)	3 (3)	9 (7)	7 (6)	6 (5)		
	地 域 環 境 学 科		募集人員	5	—	5	5	5		
			志願者数	3 (1)	—	8 (3)	4 (0)	5 (2)		
計			募集人員	8	2	7	7	9		
			志願者数	6 (3)	3 (3)	17 (10)	11 (6)	11 (7)		
医 学 部	医 学 科		一般枠	募集人員	15	15 (地域枠5人 以内を含む)	15 (地域枠5人 以内を含む)	15 (地域枠5人 以内を含む)	20 (地域枠5人 以内, 特別養 成枠を含む)	
										地域枠
										一般枠と地域枠
										一般枠と特別養成枠
										特別養成枠
			小計		15	15	15	15	20	
			一般枠	志願者数	63 (35)	35 (17)	40 (23)	54 (20)	40 (16)	
						6 (3)	4 (1)	5 (3)	6 (6)	
						11 (5)	14 (9)	11 (7)	13 (6)	
						—	—	—	2 (0)	
	—	—				—	20 (7)			
	小計		63 (35)	52 (25)	58 (33)	70 (30)	81 (35)			
	生 命 科 学 科		募集人員	—	—	—	—	5		
			志願者数	—	—	—	—	15 (8)		
	保 健 学 科		看護学 専攻	募集人員	20	20	20	25 (地域枠10人 以内を含む)	25 (地域枠10人 以内を含む)	
										一般枠
										地域枠
										一般枠と地域枠
										小計
			一般枠	志願者数	41 (38)	40 (38)	48 (46)	27 (25)	33 (30)	
								0 (0)	1 (1)	
								26 (23)	21 (21)	
								—	—	
								—	—	
	検 査 技 術 科 学 専 攻		募集人員	10	10	10	10	10		
			志願者数	34 (25)	26 (19)	28 (24)	32 (28)	17 (12)		
	小 計		募集人員	30	30	30	35	35		
志願者数			75 (63)	66 (57)	76 (70)	85 (76)	72 (64)			
計			募集人員	45	45	45	50	60		
			志願者数	138 (98)	118 (82)	134 (103)	155 (106)	168 (107)		
工 学 部	機 械 工 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	知 能 情 報 工 学 科		募集人員	5	5	5	5	5		
			志願者数	10 (1)	4 (0)	8 (1)	9 (0)	9 (0)		
	電 気 電 子 工 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	物 質 工 学 科		募集人員	—	—	7	7	7		
			志願者数	—	—	11 (3)	9 (3)	13 (1)		
	生 物 応 用 工 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	土 木 工 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
	社 会 開 発 シ ス テ ム 工 学 科		募集人員	2	5	5	5	5		
			志願者数	7 (2)	9 (0)	10 (0)	18 (3)	8 (1)		
	応 用 数 理 工 学 科		募集人員	—	—	—	—	—		
			志願者数	—	—	—	—	—		
計			募集人員	7	10	17	17	17		
			志願者数	17 (3)	13 (0)	29 (4)	36 (6)	30 (2)		
農 学 部	生 物 資 源 環 境 学 科		募集人員	30	30	20	24	24		
			志願者数	35 (18)	28 (14)	62 (26)	25 (18)	52 (22)		
	計		募集人員	30	30	20	24	24		
			志願者数	35 (18)	28 (14)	62 (26)	25 (18)	52 (22)		
合 計			募集人員	90	87	89	98	110		
			志願者数	196 (122)	162 (99)	242 (143)	227 (136)	261 (138)		

(注) ()内は女子を内数で示す。

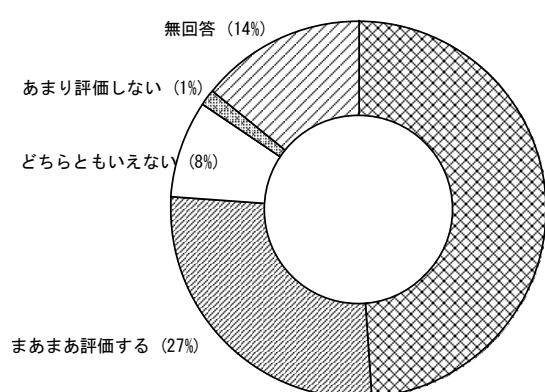
「入学試験に関する調査」報告書に基づき作成

資料 1－2－2

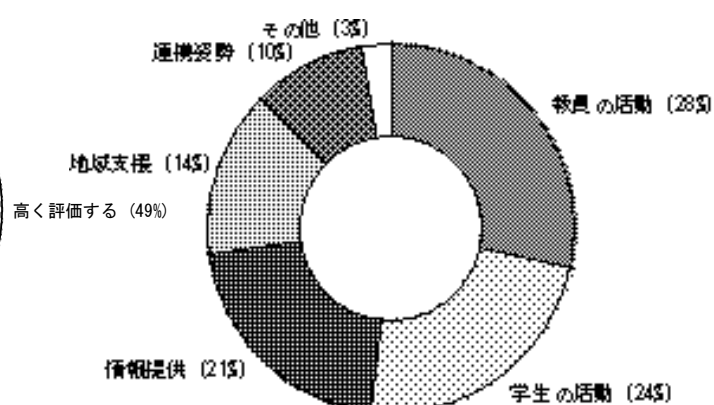
地域連携先へのアンケート概要（地域学部）

地域学部の地域連携活動の効果や問題点・課題について主に鳥取県の機関、事業体、企業、住民組織などにアンケート調査を実施した。2009年11月、本学部教員により推薦された196の事業体に調査票を送付し、84件の回答が得られた（回収率43%）。

その結果からは、学生の活動が教員と並んで評価され、連携活動全体としても高く評されている。



地域連携活動に対する評価



評価できる点

平成 21 年度全学共通科目のカリキュラム改正表

(平成 20 年度)

履修案内

- (1) 全学共通科目履修規則の別表、全学共通科目開設一覧表・授業時間割表
- (2) 学年と学期
- (3) 授業時間
- (4) 単位とその区分
- (5) 全学共通科目の区分及び履修方法

- ① 大学入門科目
- ② 主題科目

主題科目の抽選制度について

- ③ 実践科目
 - 外国語科目
 - 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガール、スペイン語
 - 健康スポーツ科学実技
 - 高年次実験科目
 - 実験演習科目
- ④ 専門基礎科目
- ⑤ 日本語・日本事情に関する科目
- ⑥ 海外実践教育に関する科目

- (6) 授業クラスの指定
- (7) 指定クラス以外の授業科目の履修
- (8) 二重履修の禁止
- (9) 履修一覧表
- (10) 試験
 - ① 定期試験について
 - ② 追試験について
 - ③ 再試験について
 - ④ 不正行為について
 - ⑤ 成績の評価

- (11) 大学・短期大学で休学した学生の履修歴について
の既修得単位の取扱について
- (12) 欠講座及び欠席届
- (13) 場 示
- (14) 教職職員免許状の取得

主題科目履修登録上限科目数

GPA制度について

(出典：全学共通科目履修案内 (平成 20、21 年度) より)

(平成 21 年度)

履修案内

- (1) 全学共通科目履修規則の別表、全学共通科目開設一覧表・授業時間割表
- (2) 学年と学期
- (3) 授業時間
- (4) 単位とその区分
- (5) 全学共通科目の区分及び履修方法

- ① 入門科目
- ② 教養科目
 - 基礎科目

- (人文・社会分野、自然分野Ⅰ、自然分野Ⅱ、実験演習分野)
- 主題科目
- 特定科目

教養科目の抽選制度について

- ③ 外国語科目
 - 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガール、スペイン語
- ④ 健康スポーツ科目
- ⑤ 日本語・日本事情に関する科目
- ⑥ 海外実践教育に関する科目

- (6) 授業クラスの指定
- (7) 指定クラス以外の授業科目を履修する場合
- (8) 二重履修の禁止
- (9) 履修一覧表
- (10) 試験
 - ① 定期試験について
 - ② 追試験について
 - ③ 再試験について
 - ④ 不正行為について
 - ⑤ 成績の評価

- (11) 大学・短期大学で休学した学生の履修歴について
の既修得単位の取扱について
- (12) 欠講座及び欠席届
- (13) 場 示
- (14) 教職職員免許状の取得

教養科目履修登録上限科目数

GPA制度について

資料 1 - 2 - 4		学部等に係る教育用ネットワークの整備状況(情報関連経費)	
区分	部局等	整備状況	備 考
H16年度	工学部	講義室(2カ所) 情報コンセント敷設	2, 625千円
H17年度	鳥取地区キャンパス	光ケーブル敷設	1, 400千円
	農学部 ※	講義室(5カ所)、実験室(1カ所)、セミナー室(1カ所)、自習室(5カ所)、ラウンジ(1カ所)、学生居室(4カ所)、院生室(1カ所) 無線AP敷設	13, 392千円
H18年度	農学部 ※	実験室(3カ所)、学生居室(11カ所)、院生室(4カ所) 無線AP敷設	5, 565 千円
	地域学部	講義室(2カ所) 情報コンセント敷設、ラウンジ(3カ所) 無線AP敷設	7, 621 千円
H19年度	医学部 ※3号館	講義室(3カ所)、チュートリアル室(5カ所)、学生ラウンジ(1カ所)、リフレッシュルーム(1カ所)、ホール(10カ所)、ロビー(1カ所)、医学図書館ヒポクラテスルーム(1カ所)、医学図書館閲覧室(1カ所) 無線AP敷設	8, 820 千円
	工学部	講義室(2カ所) 情報コンセント敷設	7, 480 千円
	農学部 ※	講義室(2カ所)、実験室(1カ所)、セミナー室(1カ所)、大学院生室(6カ所)、学生居室(7カ所) 無線AP敷設	5, 221 千円
	共通教育棟・大学会館※	ホール(1カ所) 無線AP敷設、 耐震改修に併せた教育用ネットの充実スイッチ等の増設 (講義室(21カ所)無線AP・配線は工事費等の予算から)	3, 885 千円
H20年度	地域学部 ※	講義室(8カ所)、共用スペース(1カ所) 無線AP敷設 学生ロビー(1カ所) 無線AP移設	6, 825 千円
	工学部 ※共通棟	講義室(3カ所 無線AP敷設	
	工学部	講義室(3カ所) 電源工事	1, 808 千円
H21年度	工学部	講義室(2カ所)、リフレッシュルーム(1カ所) 情報コンセント敷設	3, 456 千円
	附属動物病院	※実習室、学生居室、コモンスペース	耐震工事に含めて施行。
	地域学部	※講義室(1カ所)、学生共同研究室、院生室、リフレッシュルーム(5カ所)	
	附属図書館	※情報メディアルーム、グループ学習室、第1・第3・第4閲覧室	
	FSC本館	※学生研究室、コモンスペース	
※印、耐震改修工事による整備を示す。			
(参考)			
区分	部局等	整備状況	備考
H14年度		教育用ネットワーク構築	34, 500千円
	共通教育棟	講義室(5カ所) 情報コンセント敷設	31, 225千円
H15年度		教育用ネットワーク認証システム等セキュリティシステム構築	9, 607千円
	共通教育棟	講義室(3カ所) 情報コンセント敷設	18, 312千円
	医学部	講義室(5カ所) 情報コンセント敷設	14, 508千円

資料 1 - 3 - 1

電子ジャーナルダウンロード回数及び契約金額の年次別推移

○ダウンロード回数(2007年1月～2009年12月)

電子ジャーナル名	2007/1～6	2007/7～12	2008/1～6	2008/7～12	2009/1～6	2009/7～12
ScienceDirect	80,778	83,812	82,935	79,713	82,907	102,057
Springer	8,058	8,801	8,690	9,204	11,227	12,856
Wiley(Blackwell含む)	17,776	15,499	15,187	14,801	17,329	19,410
Nature	8,112	7,877	8,346	7,905	9,327	10,379
Science	2,351	2,572	2,447	2,362	2,400	2,719
ACS	5,284	6,850	9,997	9,205	6,952	9,201
Oxford	4,398	4,718	4,934	5,060	5,252	9,842
APS			1,957	2,761	3,260	2,904
合計	126,757	130,129	134,493	131,011	138,654	169,368

○契約金額(年度別)

(単位:円)

電子ジャーナル名	2005 平成17年度	2006 平成18年度	2007 平成19年度	2008 平成20年度	2009 平成21年度	2010 平成22年度 (予定)
Elsevier	45,204,925	41,645,997	43,395,252	45,207,107	49,232,237	51,066,027
Springer	12,582,807	10,272,783	11,469,741	11,934,730	12,197,075	11,913,270
Blackwell	8,742,339	8,061,900	11,100,000	12,000,000	20,030,637	17,577,000
Wiley	7,839,525	8,312,850	9,000,000	9,380,000		
Nature(姉妹誌 6誌を含む)	1,596,131	2,551,925	2,387,740	2,499,668	2,968,858	3,409,304
Science	759,672	670,750	734,712	638,190	655,917	644,070
IEEE	752,514	924,084	1,001,474	931,661	840,484	923,737
ACS		1,586,686	2,185,000	2,269,000	1,989,000	1,793,400
Oxford		450,450	472,760	456,350	392,812	480,900
ASCE				1,335,000	1,388,200	1,039,500
ASME				824,000	879,730	630,000
APS				797,500	661,721	641,200
EBSCOhost (ASP)				1,554,500	1,601,100	1,601,100
Cell Press				1,975,050		
合計	77,477,913	74,477,425	81,746,679	91,802,756	92,837,771	91,719,508

* 平成18年度は、電子オンリーに変更のため、契約金額が下がる。

* 平成21、22年度は円高により、契約金額が下がる。

* Cell Pressは、平成21年度からElsevierに含める。

資料 1-3-2

電子掲示板の設置状況

№	設置場所	数量	設置年度	備考
①	総合メディア基盤センター	1台	H21	
②	附属図書館	1台	H19	
		1台	H21	
		1台	H21	医学部分館
③	医学部食堂	1台	H17	
④	広報センター	1台	H21	
⑤	大学会館	1台	H21	太陽光発電の広報利用
⑥	国際交流センター（共通教育棟）	1台	H19	
⑦	乾燥地研究センター	1台	H21	

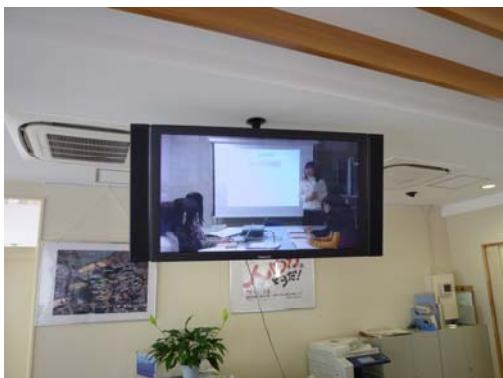
〔設置状況写真（主なもの）〕



①総合メディア基盤センター



②附属図書館



④広報センター



⑤大学会館

資料 1-3-3

平成 20 年度講義等における必携 PC・教育用情報ネットワーク利用状況調査報告

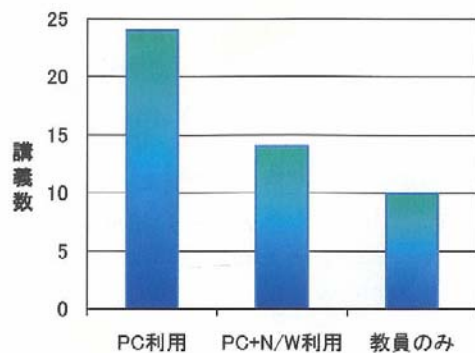


図10 医学部のPCとN/W講義利用状況

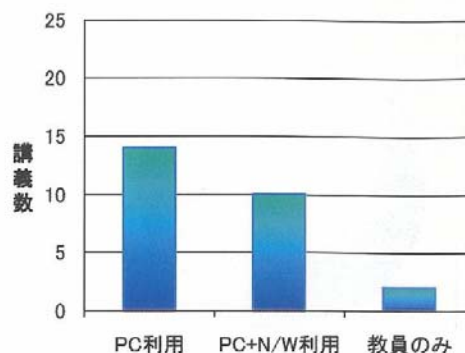


図11 地域学部のPCとN/W講義利用状況

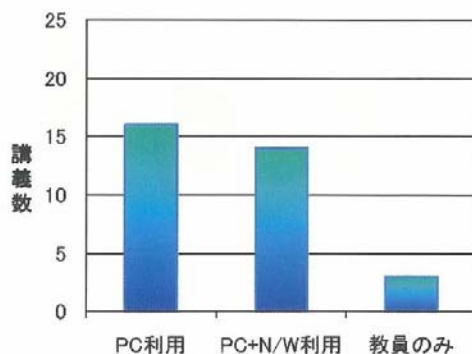


図12 工学部のPCとN/W講義利用状況

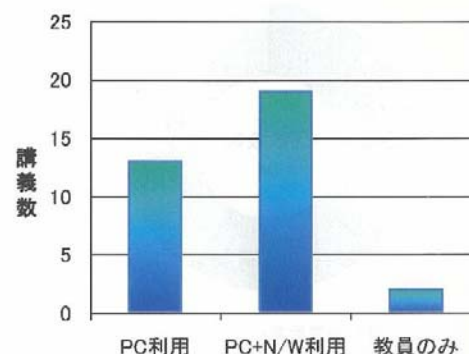


図13 農学部のPCとN/W講義利用状況

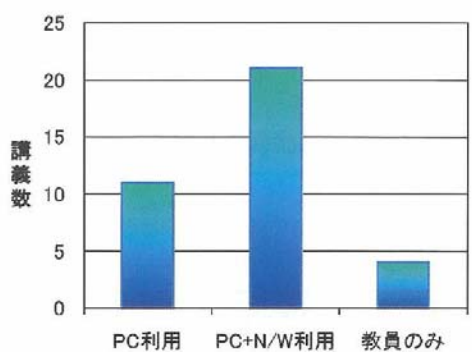


図14 附属教育・研究施設のPCとN/W講義利用状況

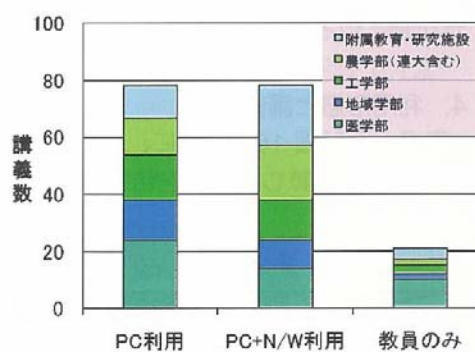


図15 部局別PCとN/W講義利用状況

図 10～14 が各々、医学部、地域学部、工学部、農学部、各種センター別に PC とネットワークを利用している講義での利用形態を示している。担当教員のみ利用するケースはそれほど多くなく、ほとんどの講義で学生に PC または PC とネットワークを利用させた講義等になっている。図 15 は、各部局の合算を積み上げ棒グラフで示したものである。

（出典：鳥取大学総合メディア基盤センター広報 VOL.6/2010 p4）

学士課程教育に関する三つの基本方針

鳥取大学は、地域学・医学・工学・農学等の「専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養」(大学設置基準)すべく教育課程を編成する。鳥取大学は知と実践との間には密接な関係があるとの認識から「知と実践の融合」を教育・研究の理念としており、知の伝達だけでなく、実践から学び、実践にいかす力を身につけることを、教育課程の全体で重視している。また、専門分野の教育においても、学術研究の成果と人間や社会とのかかわりについての深い理解と洞察力を伴う教育が必須であり、鳥取大学はこの全体を「人間力を根底」とした教育ととらえている。教育課程ごとに専門性の内容と程度は異なり、それゆえ専門分野と非専門分野の教育科目の配置と比重も異なるが、「知と実践の融合」と「人間力」はいずれにおいても追求され、21世紀の社会を担う市民の養成を目指す教育課程となっている。

教育課程は、修得する学士の資格にふさわしい科目編成を行う。各教育科目の教育内容はこの科目編成に対応している。学生にはシラバスであらかじめその概要を示すが、その内容は各教育課程へ適切に位置づけられている。こうした編成と内容が効果的であるか否かは、学問的・社会的要請とともに、学生がそれを受け止めることができるか否かに係っているので、学生の意見や反応を勘案しながら常に教育改革を推進する。教育に当たっては、一方的に知識・技能を教えることにとどまるのではなく、学習主体としての学生の自主性を育てることを重視している。卒業研究等の自由な研究的試みも、その教育課程の学士力養成において重要な教育である。また、フィールドにおける学習や実習などの重視もこの意味で重要である。

鳥取大学は学士課程教育において、卒業条件に対応させた多様な科目群を設けている。全学共通に開設される科目も狭い意味の教養にとどまらず、可変的である。外国語教育は、今日の国際社会の動向に対応して、専門科目を学ぶための実践的な言語的基礎能力を養うとともに、国際感覚豊かな人材を育成するための科目群として位置づけている。

鳥取大学の学生が学士課程で何を学び、どのような能力を身につけ、資質を開花させるかについて、「学位授与に関する方針」で明らかにしている。これらが教育課程の編成で現実に満たされているかを常に検討するためにカリキュラムのチェックを行うが、その方法は「教育課程の編成と実施に関する方針」で規定した。こうした教育のために入学を認める学生の資質については「入学者の受入れに関する方針」で定めている。また、これらの方針は、教育課程ごとに具体化されている。

鳥取大学ホームページより

<http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1865>

一貫した乾燥地科学の教育体制

本学学生における学部－修士課程－博士課程の主な進路図



総合メディア基盤センター GUIDE BOOK 2010

● 鳥取大学キャンパス情報ネットワークシステム(TUINS)



● アカウント統合およびシステム連携図



● 導入ソフトウェア

項目名	製品名	項目名	製品名
化学構造式描画ソフトウェア	ChemBioDraw Ultra 12.0教育	プログラム開発ソフトウェア	Visual Studio Professional 2008 (*)
遺伝子情報処理ソフトウェア	GENETYX ネットワーク版	CADソフトウェア	AutoCAD 2010 教育機関限定 (*)
データ解析用ソフトウェア	MATLAB -Simulink -Symbolic Math Toolbox -SignalProcessing Toolbox -CurveFitting Toolbox -ControlSystem Toolbox -Spreadsheet LinkEX -MATLAB Compiler	統計解析ソフトウェア	IBM SPSS Statistics 18 -PASW Regression -PASW Advanced Statistics
(*) ストリーミング配信対象外。 ※ 演習端末群にインストールされるMicrosoft Office Enterpriseは除きます			

出典：鳥取大学総合メディア基盤センターGUIDE BOOK 2010 パンフレットから抜

資料 1 - 4 - 2

全学及び工学部の退学者数の推移

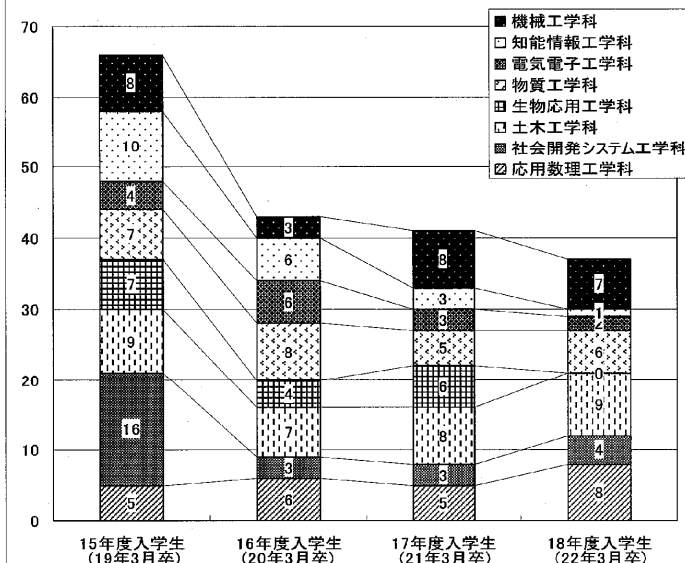
全学退学者数

2004～2009年度退学状況

学部	年度	分類								総計
		A	B	F	G	I	J	M	N	
教育学部	2004					2	1			3
教育学部 集計						2	1			3
教育地域科学部	2004	1		1	3	1	1			7
	2005	1			1	1	1			4
	2006	2			2	1	2			7
	2007	2				1	1			4
	2008	1		1						2
	2009	1								1
教育地域科学部 集計		8		2	6	4	5			25
地域学部	2004				2					2
	2005			2		1				3
	2006	1	1	1		1				4
	2007		2	1	4	2				9
	2008	2		1	2	2	1			8
	2009	1	1	3		1	2			8
地域学部 集計		4	4	8	8	7	3			34
医学部	2004	1	2		6		2			11
	2005	3	1	3	1	1		1		10
	2006			3	5					8
	2007			4						4
	2008		3	3	2	1				9
	2009		1	4						5
医学部 集計		4	7	17	14	2	2	1		47
工学部	2004	2	2	9	27	9	22			71
	2005	9	1	7	27	8	9			61
	2006	4	4	13	12	9	10			52
	2007	4	3	14	17	9	12			59
	2008	2	1	11	17	1	10			42
	2009	3	6	9	22	2	12		1	55
工学部 集計		24	17	63	122	38	75		1	340
農学部	2004		3		7	1				11
	2005	1		1	5		3	3		13
	2006	2	2	5	2	2	1	1		15
	2007	2		3	2	3	3			13
	2008	1	1	6	2					10
	2009		1	2	1		1			5
農学部 集計		6	7	17	19	6	8	4		67
全学	2004	4	7	10	45	13	26			105
	2005	14	2	13	34	11	13	4		91
	2006	9	7	22	21	13	13	1		86
	2007	8	5	22	23	15	16			89
	2008	6	5	22	23	4	11			71
	2009	5	9	18	23	3	15		1	74

工学部退学者数

入学年度別・学科別の卒業時退学者数の推移



資料2-1-1										
法人化以降の大型研究プロジェクト										
○委託研究(契約金額3千万円以上)										
【平成18年度】										
No.	学部	職	研究代表者名	研究題目	民間等の研究機関名	研究機関代表者名	民間機関等負担額	契約締結日	研究期間終了	備考
1	工学部	教授	樽谷 治	鳥取平野及び大山周辺地域における地下水の収支及び動態についての研究	鳥取県	鳥取県知事 平井 伸治	34,315,000	平成19年5月28日	平成22年3月31日	複数年度契約 分割納付 19～20年度
2	工学部	教授	薬瀬 英司	バイオマスエネルギー-高効率転換技術開発/バイオマスエネルギー-先端技術研究開発/新規エタノール発酵細菌のゲノム情報に基づくリグノセルロース連続糖化並行発酵技術の研究開発	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	理事長 牧野 力	42,021,000	平成17年11月15日	平成19年3月20日	複数年度契約 17～18年度 分割納付
3	事務局	教授	押村 光雄	染色体工学技術等による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発	財団法人鳥取県産業振興機構	理事長 金田 昭	61,113,000	平成18年6月1日	平成19年3月31日	平成18年度都市エリア産学官連携促進事業
4	医学部附属病院	部長	近藤 博史	重要課題解決型研究等の推進 衛星と地上通信網融合によるデジタルヘルスの解消	文部科学省	科学技術・学術政策局長 小田 公彦	39,672,000	平成18年4月3日	平成19年3月31日	科学技術総合研究委託 科学技術振興調整費
【平成19年度】										
No.	学部	職	研究代表者名	研究題目	民間等の研究機関名	研究機関代表者名	民間機関等負担額	契約締結日	研究期間終了	備考
1	事務局	教授	押村 光雄	染色体工学技術等による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発	財団法人鳥取県産業振興機構	理事長 金田 昭	64,350,000	平成19年4月1日	平成20年3月31日	都市エリア産学官連携促進事業
2	医学部附属病院	部長 (教授)	近藤 博史	重要課題解決型研究等の推進 衛星と地上通信網融合によるデジタルヘルスの解消	文部科学省	科学技術・学術政策局長 森口 康孝	39,137,735	平成19年4月2日	平成20年3月31日	科学技術振興調整費
【平成20年度】										
No.	学部	職	研究代表者名	研究題目	民間等の研究機関名	研究機関代表者名	民間機関等負担額	契約締結日	研究期間終了	備考
1	農学部	教授	岡本芳晴	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/疾患動物を用いた新規治療機器の安全性・有効性評価手法の開発	株式会社日立メテコ	執行役社長 浜松 潔	32,034,450	平成20年4月1日	平成21年3月20日	
2	事務局	教授	押村光雄	染色体工学技術等による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発	財団法人鳥取県産業振興機構	理事長 金田 昭	50,830,000	平成20年4月1日	平成21年3月31日	都市エリア産学官連携促進事業
3	医学系研究科	教授	押村光雄	ヒト人工染色体を用いたiPS細胞の作製と遺伝子・再生医療	独立行政法人科学技術振興機構	分任契約担当者 戦略的創造事業本部 長 理事 広瀬 研吉	33,800,000	平成20年6月1日	平成21年3月31日	戦略的創造研究推進事業(GREST)
4	医学系研究科	教授	汐田剛史	ヒト間葉系幹細胞を機能性肝細胞として、移植医療に使用するための低分子化合物・細胞シートによる分化誘導技術の開発	文部科学省 ※JSTが仲介	支出負担行為担当 官 文部科学省研究振興局長 徳永 保	47,940,000	平成20年5月30日	平成21年3月31日	キーンテクノロジー研究開発の推進 社会のニーズを踏まえたライフサイエンス分野の研究開発 「再生医療の実現化プロジェクト」
○共同研究(契約金額3千万円以上)										
【平成19年度】										
No.	学部	職	研究代表者名	研究題目	民間等の研究機関名	研究機関代表者名	民間機関等負担額	契約締結日	研究期間終了	備考
1	工学部	教授	樽谷 治	鳥取平野及び大山周辺地域における地下水の収支及び動態についての研究	鳥取県	鳥取県知事 平井 伸治	34,315,000	平成19年5月28日	平成22年3月31日	複数年度契約 分割納付 19～20年度
【平成20年度】										
No.	学部	職	研究代表者名	研究題目	民間等の研究機関名	研究機関代表者名	民間機関等負担額	契約締結日	研究期間終了	備考
1	工学研究科	教授	松原雄平	鳥取市の漁港(津浦・長瀬漁港)における沿岸漂砂による航路・泊地の堆砂現象に関する研究	鳥取市	鳥取市長 竹内 功	32,613,000	平成21年1月5日	平成21年7月31日	複数年度契約H20-21 分割払

(グローバルCOEプログラム「乾燥地科学拠点世界展開」、同「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」の概要)

グローバルCOEプログラム Global COE Program

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用
Advanced Utilization of Fungus/Mushroom Resources for Sustainable Society in Harmony with Nature

本拠点の目的は、菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

本拠点の目的は、菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用
Advanced Utilization of Fungus/Mushroom Resources for Sustainable Society in Harmony with Nature

本拠点の目的は、菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

グローバルCOEプログラム Global COE Program

乾燥地科学拠点世界展開
Global Center of Excellence for Dryland Science

本拠点の目的は、乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用
Advanced Utilization of Fungus/Mushroom Resources for Sustainable Society in Harmony with Nature

本拠点の目的は、菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

グローバルCOEプログラム Global COE Program

乾燥地科学拠点世界展開
Global Center of Excellence for Dryland Science

本拠点の目的は、乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。乾燥地科学の発展と、乾燥地科学の発展に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用

持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用
Advanced Utilization of Fungus/Mushroom Resources for Sustainable Society in Harmony with Nature

本拠点の目的は、菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。菌類・キノコ資源の活用による持続性社会の構築と、持続性社会の構築に向けた菌類・キノコ資源の活用に関する研究の推進を図ることである。

電子ディスプレイ研究センターの概要

組 織

鳥取大学工学部附属「電子ディスプレイ研究センター」

センター長	岸田 悟 (工学研究科教授兼任)	■外部客員教授	
副センター長	大観光徳 (工学研究科准教授兼任)	山口東京理科大学 教授 小林駿介氏 (特別顧問)	
客員教授	苗村省平 (基礎研究部門)	産業能率大学 教授 岩井善弘氏	
研究員	宮本快暢 (評価装置管理等)	■学内併任教員	
研究員	村上健介 (産業創成部門)	教授・准教授 若干名	
職員	入江いずみ、見生君江 (事務担当)	関係企業、協力機関	

連携

(財)鳥取県産業振興機構「大学連携推進室」

大学連携推進室長 林 俊一 (鳥取県派遣)
 マネージャー 那須安宏 (液晶人材育成担当)
 サブコーディネーター 安田正和 (液晶人材育成担当)
 「液晶人材育成プログラム」と「機器管理」を所管し、大学等との連携を図る。

TEL 0857-28-8384, 8385

FAX 0857-31-0660

活動内容

本センターでは、液晶ディスプレイ (LCD) を中心とした電子ディスプレイに関し、5つの部門を中心に活動を行います。

- 基礎物性研究部門 (苗村省平・客員教授) : 液晶の物性と電界効果に関する基礎研究
 - デバイス開発部門 (大観光徳・准教授) : 新規LCDデバイスに関する研究
 - 医療電子情報研究部門 (李仕剛・教授) : 医療現場や教育現場等、新たな応用分野の開拓
 - メモリー研究部門 (木下健太郎・助教) : 次世代のメモリーに関する研究
 - 産業創成部門 (村上健介・プロジェクト研究員) : 研究成果等の実用化に関する活動
- その他の部門
- ・応用研究部門 (岩井善弘・外部客員教授) ・教育システム研究部門 (油野利博・教授)

関係企業

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・エプソンイメージングデバイス (株) | ・尾池工業 (株) |
| ・シャープ (株) | ・ライツライン (株) |
| ・三洋コンシューマエレクトロニクス (株) | ・林純薬工業 (株) |
| | ・メルク (株) |

協力機関

- | | |
|----------------------|----------------|
| ・セコム山陰 (株) | ・鳥取市 |
| ・地方独立行政法人鳥取県産業技術センター | ・鳥取県 |
| ・財団法人鳥取県産業振興機構 | (2009.12.01現在) |

事業計画

- 1 鳥取大学大学院博士後期課程入学生 (社会人特別入学者及び電子ディスプレイに関する研究を行う一般入学者) の勉学・研究活動を支援し、次世代の技術者や研究者を養成します。
- 2 鳥取県や県内市町村、県内企業との連携を強化し、共同研究等を通じて産業育成を支援します。
- 3 鳥取県内を中心とする企業の技術者を対象に、電子ディスプレイに関連する研修会や講演会、研究会等を行います。
- 4 (財)鳥取県産業振興機構と連携し、地域における産業人材育成の事業を支援します。
- 5 学内外からの研究助成公募事業に対して、外部資金獲得に向けた活動を行います。

未利用資源有効利用の基盤技術開発研究（平成 21 年度）

目 次

はじめに	1
I 海の美味しさ発見調査	
1. 「境港産マアジの脂質含有量について」	3
鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 渡辺文雄 鳥取県水産試験場 海洋資源室長 石原幸雄	
2. 「近赤外分光器によるマアジの脂質含有量推定について」	9
鳥取県水産試験場 海洋資源室長 石原幸雄	
3. 「境港産マサバの脂質含有量について」	11
鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 渡辺文雄 鳥取県水産試験場 海洋資源室長 石原幸雄	
4. 「近赤外分光器によるマサバの脂質含有量推定について」	18
鳥取県水産試験場 海洋資源室長 石原幸雄	
5. 「イワガキの遊離アミノ酸分析」	20
鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 森 信寛	
6. 「イワガキ中の呈味性ヌクレオチドの分析」	24
鳥取大学工学研究科 化学・生物応用工学専攻 教授 大城 隆	
7. 「マアジ、マサバ、ハタハタの魚筋肉組織構造と味覚－脂肪の分布－」	28
鳥取大学医学部生命科学科 教授 佐藤建三、近江奈央	
II 未利用魚の有効利用に関する研究	
1. 「未利用魚種（アゴゲンゲ・クロゲンゲ）の脂肪酸組成について」	33
鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 渡辺文雄 鳥取県水産試験場 海洋資源室長 石原幸雄	
2. 「未利用魚の遊離アミノ酸分析」	35
鳥取大学農学部生物資源環境学科 教授 森 信寛	
3. 「未利用魚種中の呈味性ヌクレオチドの分析」	39
鳥取大学工学研究科 化学・生物応用工学専攻 教授 大城 隆	
4. 「底魚未利用魚に含まれる有用生理活性糖鎖の単離と組成分析」	41
鳥取大学地域学部 地域環境学科 教授 田村純一	
5. 「未利用魚（クロゲンゲ）の魚筋肉組織構造と味覚－脂肪の分布－」	47
鳥取大学医学部生命科学科 教授 佐藤建三、近江奈央	
6. 「海洋性未利用資源の飼料化実証試験」	49
鳥取県農林総合研究所 中小家畜試験場 研究員 西條由紀	
7. 「クロゲンゲ、アゴゲンゲに含まれる金属分析」	53
鳥取大学生命機能研究支援センター 准教授 森本 稔	

(出典：日本海水産資源研究会平成 21 年度研究成果報告書 目次)

共同研究、受託研究等の推移、「大学が地域企業活性化の推進役」

鳥取大学の最近の産官学連携の取り組みより（抜粋）

(1) 共同研究、受託研究等の推移

(単位：千円)

年 度	共同研究		受託研究		奨学寄付金		地域貢献		計
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額
平成15年	105	83,808	58	169,126	633	479,766	—	—	732,700
16年	129	151,649	61	179,462	668	446,773	2	2,084	779,968
17年	145	165,375	80	234,310	659	468,000	16	12,419	880,104
18年	160	201,880	98	398,269	659	490,188	15	13,226	1,103,563
19年	168	203,058	96	415,214	649	504,336	16	11,808	1,134,416
20年	165	226,798	109	496,402	1,069	579,639	17	22,927	1,325,766
21年	189	203,366	129	655,887	1,013	543,169	27	26,252	1,428,674
伸 率 H21／H15	180%	243%	222%	388%	160%	113%	—	—	195%

出所) 鳥取大学概要

鳥取大学振興協力会「研究シーズ開発等支援事業」採択状況

平成21年度研究シーズ開発等支援経費採択結果

【研究シーズ開発等支援経費(補助額300千円／件(内訳:協力会150千円、鳥大150千円))】

番号	採 択 企 業 名	研 究 題 目	研 究 代 表 者
1	大村塗料(株)	キチンナノファイバー利用新規機能性コーティング剤の開発	工学研究科 教 授 齋本 博之 講 師 伊福 伸介
2	オグラ建設(株)	雑草防除機能を付加した真砂土の開発	農 学 部 准教授 猪迫 晃司
3	(有)アグリ琴浦	ブルーベリー茶の総アントシアニンおよび機能性成分の分析	農 学 部 教 授 渡邊 文雄
4	鳥取県芝生生産組合	芝結束機の改良	農 学 部 教 授 山名 伸樹
5	(有)為石屋	特殊炭化炭による竹酢の精製条件と精製物の成分分析および利用方法に関する研究	工学研究科 教 授 大城 隆
6	(有)今松工務店	2型糖尿病の食後代謝に注目した桑エキスの抗糖尿病効果についての検討	医 学 部 講 師 谷口 晋一
7	宝福一(有)	動物実験による黒らっきょうの健康効果の検証	農 学 部 教 授 渡邊 文雄
8	(株)田中製作所	精密光学系部品の最適配置による医療用内視鏡の小型化に関する研究	工学研究科 助 教 上原 一剛 教 授 小幡 文雄
9	(株)自然エネルギー研究所	沙漠緑化支援技術としての造水装置の研究開発	地域学部 准教授 田川 公太郎
10	安田精工(株)	加工データ自動補正機能をもつ高精度金型加工システムの開発	工学研究科 教 授 田中 久隆
11	(有)原田精工	ラッキョウ根切機の開発	工学研究科 助 教 赤尾 尚洋
12	(株)OMC	農作物の生育および味覚向上に及ぼす竹粉施用の効果に関する研究	農 学 部 教 授 山本 定博
13	サンイン技術コンサルタント(株)	低炭素社会構築に向けた小型風力発電の有効活用と地域づくり	工学研究科 (代表者)教授 細井 由彦 外3名

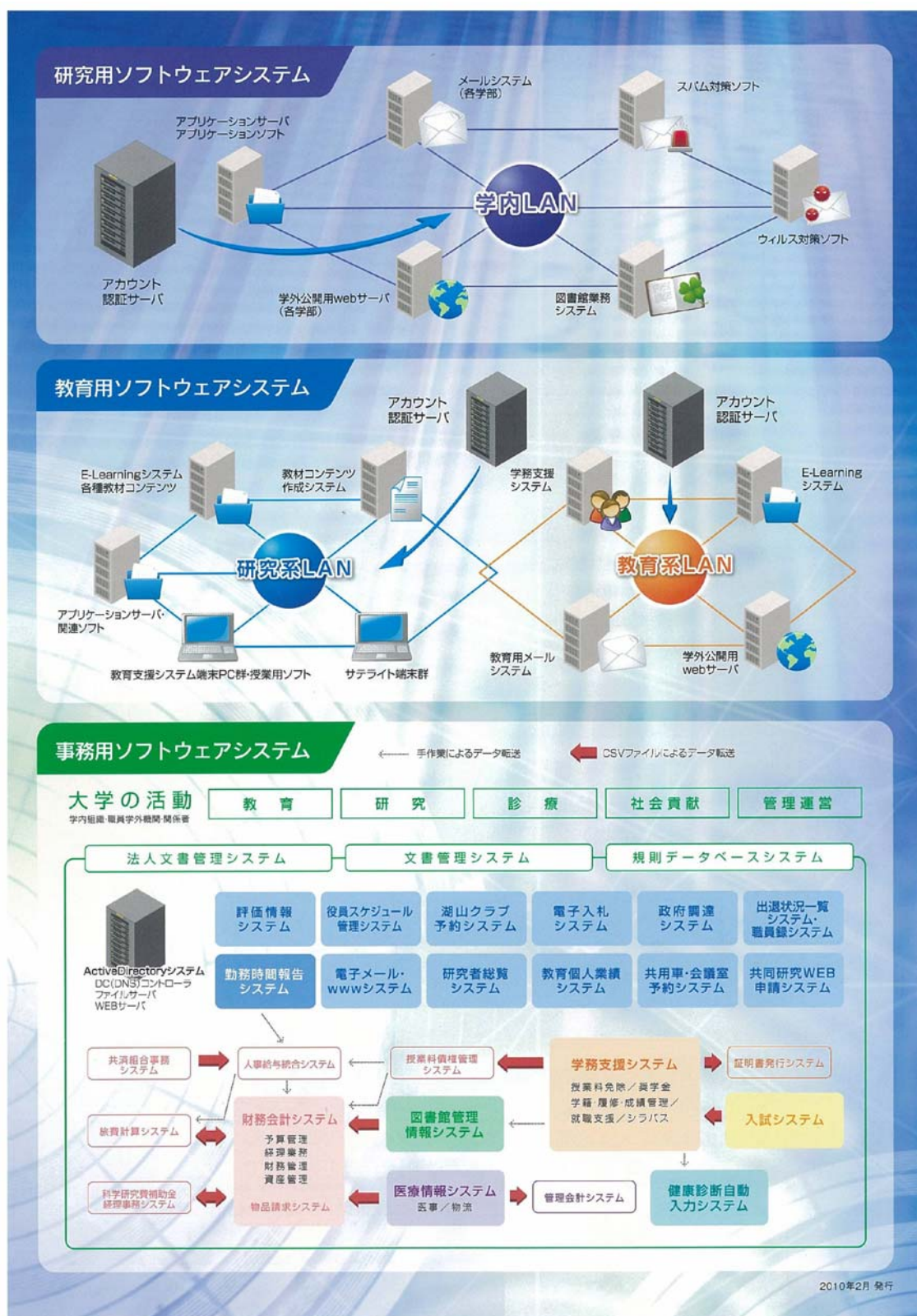
平成20年度研究シーズ開発等支援経費採択結果

【研究シーズ開発等支援経費(補助額300千円／件(内訳:協力会150千円、鳥大150千円))】

番号	採 択 企 業 名	研 究 題 目	研 究 代 表 者
1	金田石油(有)	皮革製品の柔和処理(湯もみ加工)に対する天然温泉の効果について	農 学 部 准教授 今川 智敬
2	白雪食品(株)	鳥取県産、小西瓜のシトルリン含有量と加工による含有量の変化	農 学 部 教 授 森 信寛
3	日陽ケミカル(株)	鳥取の地域資源を利用する機能性多糖の効率的製造法の研究	地域学部 教 授 田村 純一
4	(株)イルカレッジ	天然鉱石を使ったクリームの顔面リフトアップ効果に関する調査研究	医 学 部 教 授 井上 貴央
5	(有)エー・オー・エス・ケミカル	二十世紀梨酢と鳥取県内産の梅を用いた「梅エキスイ梨酢」の研究開発	工学研究科 教 授 齋本 博之 生命機能研究支援センター 准教授 森本 稔
6	(株)エッグ	地域医療連携における診療情報データベース共有化の有効性に関する評価	医 学 部 講 師 桑田 成規
7	(有)コスモ産業	ゴミ処理用破砕刃への繊維巻付き状態の分類と刃型改良による処理効率の向上	工 学 部 准教授 佐藤 昌彦
8	(株)ナカヤ	野生植物ミネラルのマウスに対する抗腫瘍作用の検証	農 学 部 准教授 齋藤 俊之 農 学 部 教 授 岡本 芳晴
9	(有)松村精機	目立てが不要な木工用スローアウェイ鋸刃の研究開発	工学研究科 教 授 田中 久隆
10	(株)エコマ商事	珪藻土とリサイクル材を活用した屋上緑化基盤材の開発	農 学 部 准教授 猪迫 耕二
11	(株)イーテック	プラスチック製容器の防水構造に関する研究	工 学 部 技術専門官 林 昭富
12	(株)フジタ パラダイスパーク	セダム(常緑麒麟草)に含まれる糖類等の調査研究	農 学 部 講 師 岡 真理子

資料2-2-1		とっとりネットワークシステム (TNS) 登録研究会 (H17.8登録開始)		代表者		構成人数		事務局等	
区分	研究会名	設立年月日	氏名	所属	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
1	鳥取県地域情報化研究会	H17.11.17	無し			151名(産:69名、官:47名、学:35名)		鳥取県企画情報政策課	
2	食品開発と健康に関する研究会	H17.9.6	秋田 幸一	(地独) 鳥取県産業技術センター 食品開発研究所長		108名(産:49名、官:27名、学:32名)		(地独) 鳥取県産業技術センター 食品開発研究所	
3	ICT活用研究会	H17.4.21	金田 昭	(財) 鳥取県産業振興機構 理事長		14名(産:12名、官:2名、学:0名)		(財) 鳥取県産業振興機構 新事業創出部	
4	LEDの照明応用研究会	H17.9.28	金田 昭	(財) 鳥取県産業振興機構 理事長		55名(産:44名、官:5名、学:6名)		(財) 鳥取県産業振興機構 新事業創出部	
5	地域地震災害研究会	H18.3.1	西田 良平	鳥取大学名誉教授		8名(産:3名、官:1名、学:4名)		鳥取大学工学部	
6	鳥取地学会	H8.5.25	伊藤 徹			130名		鳥取県立博物館 学芸課	
7	廃棄物・資源循環研究会	H17.3.24	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		29名(産:0名、官:7名、学:22名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 環境化学室	
8	温暖化・黄砂・酸性雨を考える研究会	H17.5.16	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		23名(産:0名、官:10名、学:13名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 大気・地球環境室	
9	動物由来感染症に関する研究会	17.9.27	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		21名(産:0名、官:8名、学:13名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 保健衛生室	
10	鳥取タンパク質構造・機能研究会	H17.5	飯塚 舜介	鳥取大学大学院医学系研究科 准教授		40名(産:3名、官:2名、学:35名)		鳥取大学大学院医学系研究科 機能再生医学専攻生体高次機能学部門	
11	食品生活活性研究会	H17.6.2	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		19名(産:0名、官:10名、学:9名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 食品衛生室	
12	自然生態系の再生による水質浄化研究	H17.5.10	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		28名(産:0名、官:15名、学:13名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 水環境室	
13	環境化学物質による生態影響研究会	H17.8.10	三木 文貴	鳥取県生活環境部衛生環境研究所長		13名(産:0名、官:9名、学:4名)		鳥取県生活環境部衛生環境研究所 食品衛生室	
14	鳥取県木材工業研究会	S39.4.18	作野 友康	鳥取大学名誉教授		56名(産:33名、官:19名、学:4名)		鳥取県林業試験場 木材利用研究室	
15	とっとりロボット技術研究会	H19.9.3	柏木 秀文	(地独) 鳥取県産業振興機構 機械素材研究所長		23名(産:10名、官:8名、学:5名)		(財) 鳥取県産業振興機構 新事業創出部	
16	日本海水産資源研究会 (以下20年度登録)	H20.19	和泉 好計	鳥取大学大学院工学研究科 特任教授		15名		鳥取大学産学・地域連携推進機構	
17	山陰海岸ジオパークに関する環境学術研究会	20.8.19	西田 良平	放送大学鳥取学習センター センター長		8名		鳥取大学地域学部地域環境学科	
18	鳥取総合分析研究懇談会	H11.9.25	中野 恵文	鳥取大学地域学部 教授		23名		鳥取大学医学部保健科学科生体制御学講座	
19	広葉樹文化協会	H3.5.11	岸本 潤	鳥取大学名誉教授		650名(産:540名、官:100名、学:10名)		広葉樹文化協会 事務局	
20	琴浦町農林水産業活性化研究会 (以下21年度登録)	H19.3.6	山下 一郎	琴浦町副町長		29名(産:15名、官:8名、学:6名)		琴浦町農林水産課	
21	とっとり防災・危機管理研究会	H21.10.19	松原 雄平	鳥取大学工学研究科教授		21名(産:0名、官:3名、学:18名)		鳥取大学 産学・地域連携推進機構 地域貢献部門	
22	湖山地の浄化及び有効利用に関する連絡会	H21.9.30	細井 由彦 瀬井 親則	鳥取大学工学研究科教授 鳥取県東部総合事務所		32名(産:0名、官:14名、学:18名)		鳥取県東部総合事務所県民局	
23	とっとり観光振興研究会		光多 長温	鳥取大学特任教授				鳥取県観光政策課	
24	ハーブの利用に関する研究会	H21.10.19	作野 友康	鳥取大学名誉教授		32名(産:0名、官:14名、学:18名)		株/ハイパーブレイン	
25	鳥取大学放置竹林整備および竹材の利活用に関する研究会	H21.10.19	藤村 尚	鳥取大学工学研究科教授		25名(産:0名、官:0名、学:25名)		鳥取大学名誉教授 作野友康	
26	鳥取県新エネルギー活用研究会	H22.1.25	築瀬 英司	鳥取大学工学研究科教授		44名		鳥取県生活環境部環境立県推進課	

鳥取大学高度情報化推進構想の情報システム図



出典：鳥取大学の高度情報化への取り組み —鳥取大学高度情報化推進構想—

資料 2 - 2 - 3

生命機能研究支援センターが管理する全学利用の大型施設の年次別推移

会計年度	新規に管理することにした研究設備件数	使用中
2004（平成 16 年）	2 3	2 3
2005（平成 17 年）	3	3
2006（平成 18 年）	3	3
2007（平成 19 年）	2	2
2008（平成 20 年）	7	7
2009（平成 21 年）	2 8	2 8
計	6 6	

（平成 21 年度末の資産管理システム登録設備 1 0 0 万円以上の設備について集計を行った。）

目次

○文化、芸術活動の盛んな地域づくりを目指して

芸術をかじってみませんか コミュニティアート講座	1
地域学部附属芸術文化センター 佐分利 育代	
芸術文化センター「アート・プロジェクト」	7
地域学部附属芸術文化センター 石谷 孝二	
文化・芸術プロジェクト：「湖山池」としての私	13
地域学部地域教育学科 住川 英明	
地域を支える情報拠点としての図書館サービスの展開	18
－更なるレベルアップと新たな展開－	
附属図書館長 高阪 一治	

○豊かな風土と地域の活性化に向けて

全国初の集落型NPO法人を活用しての智頭町新田集落の活性化事業	22
地域学部地域政策学科 藤田 安一	
まちなみ景観を活かした地域づくり	28
－新まちづくりブランドデザイン（案案）検討	
及び歴史的建築物の利活用プランの策定－	
地域学部地域文化学科 家中 茂	
アーティスト・イン・空き家の可能性を探る	34
地域学部附属芸術文化センター 五島 朋子	
第5回倉吉淀屋サミットと関連事業	40
一倉吉淀屋（旧牧田家）など明倫地区歴史遺産の住民活動	
・大学連携による地域づくりへの活用事業－	
地域学部地域政策学科 藤井 正	
鳥取市商店街における音環境の整備と快適な音空間の開発	46
地域学部地域教育学科 小川 容子	
外国にルーツをもつ住民により寛容な地域社会をめざして	52
――わたしたちの隣人とお会いなおすために――	
地域学部地域政策学科 仲野 誠	
T3Sプロジェクト	58
地域学部地域文化学科 野田 邦弘・榎木 久薫	
因幡のシロサギ神話・羽衣伝説にかかわるイベント	61
地域学部地域文化学科 門田 真知子	
「中海夕暮れコンサート」を通した中海再生プロジェクト支援	65
医学部医学科 中野 俊也	

自然災害に向けた教育のあり方について	68
大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 藤村 尚	
高機能性因州和紙の作製と応用	70
大学院工学研究科 生物応用工学専攻 吉井 英文	
森・棚田等維持保全活動支援	76
農学部生物資源環境学科 能美 誠・山本 福壽	
休耕田を利用したホンモロコ養殖におけるアイガモの除草効果に関する研究	81
農学部獣医学科 斎藤 俊之	
鳥取県における森林および耕作地への竹林拡大状況調査	85
農学部生物資源環境学科 山本 福壽	
地図情報システムを活用した耕作放棄地の解消	90
農学部生物資源環境学科 小林 一	
真庭市環境学習推進事業	93
農学部附属フィールドサイエンスセンター森林部門長 佐野 淳之	
琴浦町農業活性化支援事業	98
農学部生物資源環境学科 佐藤 俊夫	
音楽熟成トマトの栄養素分析とジュース他の特産品開発	103
農学部生物資源環境学科 渡辺 文雄	
伯州綿の復活に向けた機械調製技術の開発	109
農学部附属フィールドサイエンスセンター 山名 伸樹	
日南町におけるハーブ栽培のための最適土壌条件の検討	113
農学部生物資源環境学科 山田 智	
理科大好き出張実験	116
入学センター 森川 修	
鳥取のこたばを掘り起こし観光文化資源として生かす	121
国際交流センター 谷守 正寛	
鳥取県と連携した生涯学習支援事業	124
生涯教育総合センター 太田 美幸	

○環境に優しい循環型社会の構築を目指して

発泡ガラスの特性とそのゼオライト化による有効利用について	128
地域学部地域環境学科 中野 恵文	
水産資源から抽出した蛋白質等成分の	
キャラクタリゼーションによる有効利用法開発の研究	131
大学院医学系研究科機能再生医科学専攻 飯塚 舜介	
若桜町にみる森林管理を通じた地域資源の有効活用について	134
農学部生物資源環境学科 片野 洋平	
生ゴミリサイクルモデル事業の設計と推進	139
農学部生物資源環境学科 緒方 英彦	

薪の利用による二酸化炭素排出削減と地域おこし	144
農学部附属フィールドサイエンスセンター 日置 佳之	
竹粉末を用いた機能性床敷きの開発	150
農学部獣医学科 柄 武志	

○健全な心身を持続できる福祉社会を目指して

地域スポーツにおける競技力向上のためのサポート活動	154
地域学部地域環境学科 関 耕二	
運動を中心とした健康づくり支援	160
医学部医学科 加藤 敏明	
脳卒中イベントの背景要因の分析と介入効果の検証：鳥取－江府 study	166
医学部医学科 谷口 晋一	
いのち輝け子どもたち	172
医学部医学科 高塚 人志	
女性の健康力アップ教室～イケてる私になろう！少し変わってみませんか～	178
医学部保健学科 池田 智子	
過疎農村地域における高齢者パワーを生かした地域づくり	184
医学部保健学科 矢倉 紀子	
子産み・子育て支援を支える応援事業～家族計画、禁煙、母乳哺育～	190
医学部保健学科 前田 隆子	
足浴の効果に関する研究－鳥取市における足湯施設の利用－（継続）	196
医学部医学科 西村 正広	
西伯病院との電子カルテ相互参照システム（おしどりネット）運営事業	202
医学部附属病院医療福祉支援センター長 池口 正英	
鳥取市内において湧出する温泉水のアトピー性皮膚炎改善効果に関する研究	206
農学部生物資源環境学科 杉山 晶彦	

○平成21年度大学開放推進事業報告

農村ビジネスの新たな展開一次代を担う人びとと語る	212
地域学部地域文化学科 家中 茂	
市民社会を支えるこれからのファンデレイジングを学ぶ	218
地域学部附属芸術文化センター 五島 朋子	
鳥取大学サロン・コンサート	222
地域学部附属芸術文化センター 新倉 健	
鳥取大学ものづくりネットワークプロジェクトによるものづくり教育実践	226
地域学部地域教育学科 土井 康作	
にちなんふる里まつりに連携する出前科学実験教室	230
医学部保健学科 田中 俊行	
鳥取大学発「出前おもしろ実験室」プロジェクト	236
工学部技術部 丹松 美由紀	
船の工作教室の開催	240
工学部技術部 小田 明道	
フィールドサイエンスセンター森林教室	245
農学部附属フィールドサイエンスセンター 佐野 淳之	
真庭市の子どもたちを対象とした冬山教室	249
農学部附属フィールドサイエンスセンター 松原 研一	
バイオ技術を体験しよう！	253
生命機能研究支援センター 難波 栄二	
あそびのまなび舎	257
生涯教育総合センター 大谷 直史	

○その他の事業

平成21年度鳥取大学公開講座実施報告書	259
平成21年度サイエンス・アカデミー開催実績	260
平成21年度鳥取大学「とっとり駅南教室」開催状況	262
平成21年度鳥取大学における子ども向け科学技術人材養成への取り組み	263
平成21年度とっとり「知の財産」活用推進事業一覧	270
平成21年度北東アジア学術交流支援事業一覧	271
平成21年度鳥取県「課題対応スキル向上事業」一覧	272

資料 3-1-2 受託研究・共同研究・地域貢献受託事業・奨学寄付金受入一覧(平成15～21年度)									
	共同研究		受託研究		地域貢献受託事業		奨学寄付金		合 計
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
平成15年度	105	83,808	58	169,126			633	479,766	796 732,700
平成16年度	129	151,649	61	179,462			2 668	446,773	779,968
平成17年度	145	165,375	80	234,310	16	12,419	659	468,000	880,104
平成18年度	160	201,880	98	398,269	15	13,226	659	490,188	1,103,563
平成19年度	168	203,058	96	415,214	16	11,808	649	504,336	1,134,416
平成20年度	165	226,798	109	496,402	17	22,927	1,069	579,639	1,325,766
平成21年度	189	203,366	129	655,887	27	26,252	1,013	543,169	1,428,674
伸び率 H21/H19	112%	100%	134%	157%	168%	222%	156%	107%	146% 125%
(注) 地域貢献受託事業については、平成16年度から集計									

金額の単位: 千円

學術交流協定—覽

[illegible]

資料 4-1-1

全学及び工学部の退学者数の推移

全学退学者数

2004～2009年度退学状況

学部	年度	分類								総計
		A	B	F	G	I	J	M	N	
教育学部	2004					2	1			3
教育学部 集計						2	1			3
教育地域科学部	2004	1		1	3	1	1			7
	2005	1			1	1	1			4
	2006	2			2	1	2			7
	2007	2				1	1			4
	2008	1		1						2
	2009	1								1
教育地域科学部 集計		8		2	6	4	5			25
地域学部	2004				2					2
	2005			2		1				3
	2006	1	1	1		1				4
	2007		2	1	4	2				9
	2008	2		1	2	2	1			8
	2009	1	1	3		1	2			8
地域学部 集計		4	4	8	8	7	3			34
医学部	2004	1	2		6		2			11
	2005	3	1	3	1	1		1		10
	2006			3	5					8
	2007			4						4
	2008		3	3	2	1				9
	2009		1	4						5
医学部 集計		4	7	17	14	2	2	1		47
工学部	2004	2	2	9	27	9	22			71
	2005	9	1	7	27	8	9			61
	2006	4	4	13	12	9	10			52
	2007	4	3	14	17	9	12			59
	2008	2	1	11	17	1	10			42
	2009	3	6	9	22	2	12		1	55
工学部 集計		24	17	63	122	38	75		1	340
農学部	2004		3		7	1				11
	2005	1		1	5		3	3		13
	2006	2	2	5	2	2	1	1		15
	2007	2		3	2	3	3			13
	2008	1	1	6	2					10
	2009		1	2	1		1			5
農学部 集計		6	7	17	19	6	8	4		67
全学	2004	4	7	10	45	13	26			105
	2005	14	2	13	34	11	13	4		91
	2006	9	7	22	21	13	13	1		86
	2007	8	5	22	23	15	16			89
	2008	6	5	22	23	4	11			71
	2009	5	9	18	23	3	15		1	74

工学部退学者数

入学年度別・学科別の卒業時退学者数の推移

